

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008横第54号	
事故等種類	沈没	
発生日時	平成20年10月18日（土） 09時30分ごろ	
発生場所	京浜港横浜第5区 横浜金沢木材ふとう東防波堤灯台から真方位121° 1,400m付近 (概位 北緯35° 22.3′ 東経139° 40.3′)	
事故等調査の経過	平成20年10月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	機関、電気系統等を濡損	
事故等の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、知人2人及びその子供2人を乗せ、平成20年10月18日07時00分ごろ横浜市南区の堀割川を出発し、東京湾中ノ瀬付近の釣り場に向かった。</p> <p>本船は、07時40分ごろ、海水が浸入して船尾が徐々に沈んだので、最寄りの陸岸に向けて航行を開始したが、その後さらに船尾の沈下が進み、京浜港横浜第5区金沢木材ふ頭東方沖において機関が止まった。</p> <p>本船は、船長が錨を投下したのち、09時15分ごろ携帯電話で知り合いに救助を依頼するとともに、付近の航行船舶に救助を求めた。</p> <p>本船乗船者は、本船が沈没する前に近くを通りかかったヨットに救助された。</p> <p>海上保安庁は、09時32分ごろヨットからの118番通報を受け、巡視艇を出動させて本船の沈没位置や油の流出がないことなどを確認した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 4</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の初期</p>	
その他の事項	<p>本船の船体構造は、船体中央部に機関室、機関室の前方にキャビン、キャビンの前方に船首物入れ室、機関室の上に操縦区画、機関室の後方にいけす、いけす後方の船尾部に舵機室が配置され、各室間に隔壁が設けられていた。</p> <p>本船の舵機室後部の船底には、プロペラ点検口が設けられていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、東京湾中ノ瀬付近の釣り場で、海水が浸入して船尾が沈下した可能性があると考えられる。</p> <p>本船は、機関室が浸水したことにより、機関が</p>

	<p>停止した可能性があると考えられる。</p> <p>本船は、京浜港横浜第5区において最寄りの陸岸に向けて航行中、船内への浸水量が増加したことから、浮力を失って沈没した可能性があると考えられるが、浸水状況及び沈没に至る経過については明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が京浜港横浜第5区において最寄りの陸岸に向けて航行中、船内への浸水量が増加したため、浮力を失って沈没したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>